

03

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第3回地域夢・未来カフェ in 緑台・陽明

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、「第3回地域夢・未来カフェ in 緑台・陽明」が開催されました。

日時：2013年1月19日（土）10:00～12:00

場所：第1自治会

参加人数：市民17名+市WGメンバー2名

当日のスケジュール

- 10:00 開会
- 10:05 当日スケジュール説明・ふりかえり
- 10:10 アイスブレイク
- 10:20 テーブルワーク（活動案のとりまとめ）
- 11:35 グループ発表
- 11:55 今後の流れの説明
- 12:00 閉会

当日スケジュール説明～アイスブレイク

開会のあいさつの後、前回のふりかえりと当日のスケジュールの説明がありました。その後、アイスブレイク「喪失体験」を行いました。フセンに「友人」「健康」「趣味」「お金」「役割」「仕事」という6つのキーワードを書き、ジャンケンに負けると1枚ずつ破っていくゲームです。残った付箋は人によりさまざまで、参加者の中でも価値観が異なっていることを体感しました。また、6つのキーワードは、年をとるごとに失っていくものですが、地域活動等で新しく得ることもできるという話もありました。



テーブルワーク～グループ発表

各グループのテーマ

- Aグループ：高齢者が生活しやすいまちにする
- Bグループ：3世代が交流できるまちにする
- Cグループ：子どもが育ちやすいまちにする

テーブルワークでは、第2回に引き続いて活発な議論が行われました。さまざまなアイデアを出し合いながら、具体的に活動案づくりを行いました。Aグループでは、空き家などを活用した地域の居場所づくりについて、Bグループでは、イベントなどを通じて3世代交流ができるまちづくりについて、Cグループでは、地域が一体となって子育てを支援するまちづくりについて、それぞれのテーブルで多くのアイデアが出されました。

最後に総合政策部の本荘部長より講評と3回にわたった地域夢・未来カフェの閉会のあいさつがありました。



A班 地域の居場所づくり

場所の検討

- ・ 空き店舗
- ・ 空き教室（幼・小・中）
- ・ 多様な既存場所の活用
- ・ スポーツ公園（プレハブを建てる）
- ・ スポーツ公園は防災機能（避難所）もある
- ・ キリン公園
- ・ 市民体育館
- ・ 公民館
- ・ センタービル
- ・ 緑台小学校
- ・ 5~6人のミニ居場所づくり
- ・ 個人の家（泉北ニュータウン方式などを参考に）

- ・ お酒が飲める
- ・ 巡回販売する
- ・ ミニサークル活動
- ・ 情報が取れる
- ・ セルフサービス方式でやる
- ・ 喫茶店
- ・ ミニコンビニ
- ・ 地元の野菜を置く

誰がやるか？

- ・ コミュニティがNPOをつくるなど

お金

- ・ 交付金に地域からのお金を追加できるか
- ・ ファンドをつくる
- ・ 助成金を申請する

効果

- ・ ちょっとした雇用になればいい

その他

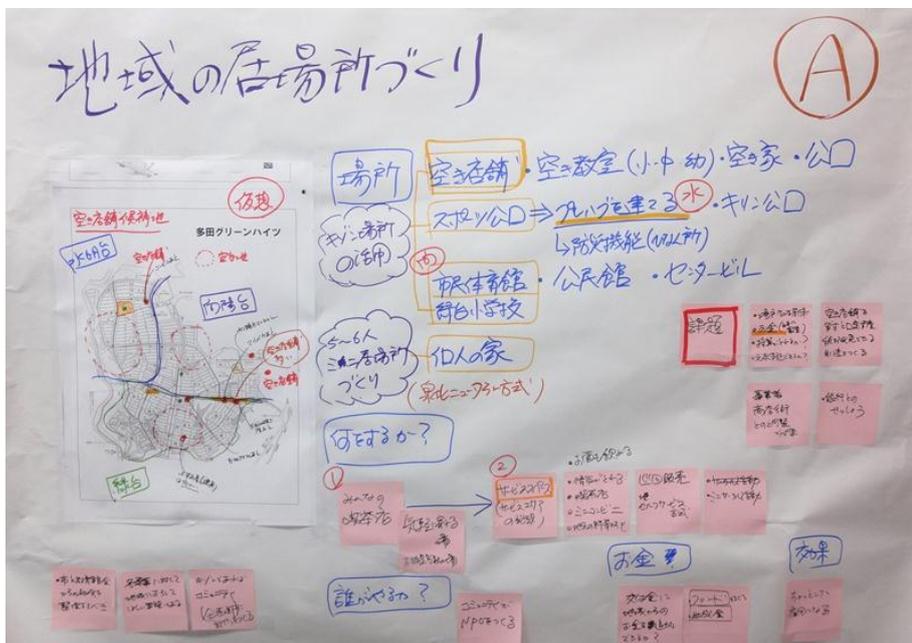
- ・ 市と教育委員会からの助成金を調整すべき
- ・ 各事業に対して地域におおしてほしい要望はある
- ・ 既存であればコミュニティ（企画部門をつくる）

課題

- ・ 場所の確保
- ・ お金（特に家賃）
- ・ 採算が取れるか
- ・ 元本保証できるか
- ・ 事業者や商店街との調整が必要
- ・ 銀行との折衝

何をするか

- ・ みんなの喫茶店
- ・ 気軽に寄れる場（不特定多数の場）
- ・ サービススペース（サービスエリアの発想）



B班 3世代交流の取組のアイデア

場づくり

- ・空き店舗を活用したカフェ
- ・コミュニティカフェとして、高齢者や現役世代の中に障がい者も一緒に集い、働ける場所
- ・緑台老人福祉センター
- ・学校の空きスペース
- ・使いたい学校のスペースが上階にある
- ・使える場所の整理
- ・あかねハウス
- ・もりのくまさん
- ・お好み焼き屋さん
- ・場所はあるが家賃が…
- ・安全性の問題から外部には貸したがない

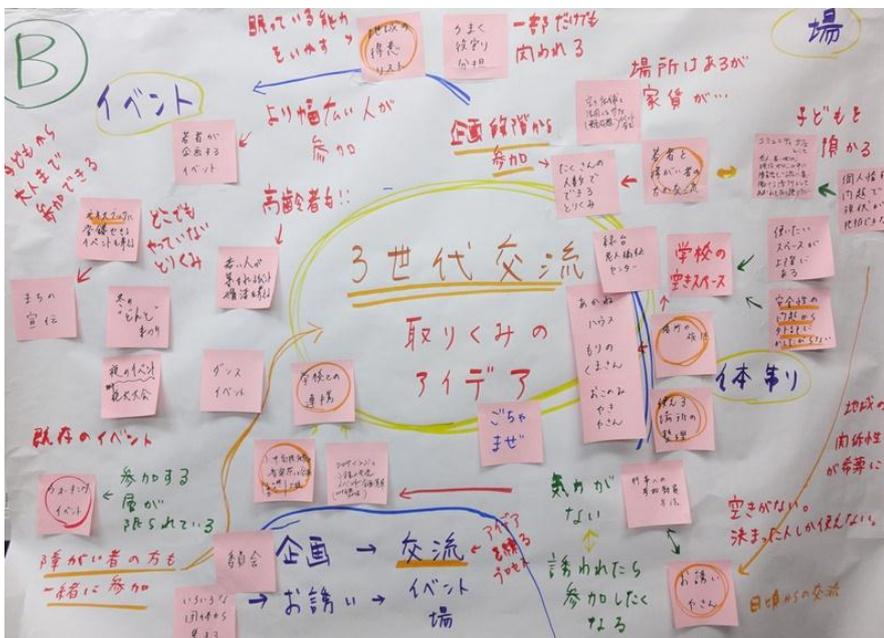
- ・婚活を考えてみる
- ・夜のイベント
- ・花火大会
- ・ダンスイベント
- ・小中高対象の音楽祭を企画
- ・シニアクラブと小学生の交流、イベントを企画（シニア会員400名）
- ・ウォーキングイベント
- ・既存のイベントは参加する層が限られている

イベント

- ・子どもから大人まで参加できるもの
- ・どこでもやっていない取組
- ・ギネスブックに登録できるイベントを考える
- ・若者が企画するイベント
- ・より幅広い人が参加できるもの
- ・企画段階からたくさんの人数で参加できる取組
- ・若者と障がい者の方の交流
- ・まちの宣伝にもなる
- ・冬のどんと祭り
- ・若い人が集まれるイベント

体制

- ・気がなくても、誘われたら参加したくなる
- ・行事への参加動員方法としてのお誘い屋さん
- ・個人情報の問題で現状が把握できず、地域の関係性が希薄になっている
- ・地域の得意リストをつくって、眠っている能力を生かす
- ・一部だけでも関わられるようなうまい役割分担を考えてみる
- ・学校と連携する



C班 子育てしやすい街づくり

目的

- ・すそ野を広げる
- ・子育てしやすいまち→若い人を呼び込む

ちょっと預ける場所

- ・有料？無料？工夫したい
- ・ふるさと基金の活用
- ・無償の場所があればいい
- ・利用料は無料でもなくてもよいが…
- ・学校の近くなら助かる
- ・無償で提供していただける空き家
- ・気軽に立ち寄れる喫茶スペース
- ・みんなが居心地良くないといけない

外で自由に遊べる街を

- ・駄菓子屋があればよい
- ・家でちょっとした駄菓子屋をやってみる

「地域で育てる」ということ

- ・地域のためになら活用できるような基金
- ・高齢者の力を借りる、経験が豊か！！

- ・いろんな世代、いろんな年齢が集まる場所
- ・元気なおじいちゃんおばあちゃんがたくさんいる
- ・こままわしや昔遊びを教えてもらう
- ・囲碁、将棋、麻雀をいっしょにやる
- ・子どもと一緒に過ごす刺激があって、認知症防止になる！
- ・病後保養のために使えるようになれば
- ・中学生や将来保育を目指す子どもたちも来てもらう
- ・昔の話を聞くのもよい
- ・将来の希望に向けての職業体験の場
- ・有償ボランティア、無償ボランティア

企業誘致、就業の場

- ・大企業より知恵を集め、人材を集める
- ・若い世帯の働く場所があれば…
- ・職住近接のまちにできるようにする

地域分権、活動の財源

- ・今までより効果、充実させることができる
- ・税収を上げる

